

## ニチイキッズ芦屋保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。

また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年2月1日（木）～2月29日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月1日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子ども一人ひとりの気持ちや思いを尊重し、寄り添う保育の大切さを改めて認識した。職員一同、その思いを保育園づくりに反映できるように目指す。
子どもの発達援助	子どもの気持ちや思いを理解するにあたって、成長や性格も鑑み試行錯誤しながら、おもちゃの提供や保育室の環境設定に取り組んだ。月齢、興味に合わせて遊び方を変えることで出来る事は見守る姿勢を心がけ成長のきっかけを促した。
保護者に対する支援	送迎時、連絡帳などで子どもの日々の様子を伝え安心して預けていただけるような対応、コミュニケーションの重要性を心にとめ、保護者に寄り添えるように心がけた。
保育を支える組織的基盤	新型コロナウイルス感染症が5類になった事で外部研修に参加する機会が増えてきた。研修内容を月一回の内部研修で共有し、さらに職員の保育の質の向上を目指してスキルアップを図った。

総評
新型コロナウイルス感染症が5類になった事で、様々な事が緩和され行事も予定通り実施する事ができました。子ども一人ひとりに寄り添い、言葉のやり取りや遊びを楽しんだり、基本的生活習慣の自立を導く事が出来ました。
次年度に向け、子どもたちの好奇心を高められるように手作り玩具の充実や様々な体験が提供できるよう、個々のスキルアップを促していきたい。また、職員同士の協力により、良い職場環境作りと保護者の気持ちに寄り添った暖かい保育園を引き続き目指していく。